

科目名	栄養学		
担当教員	豊田靖子		
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	後期	1	8
履修目的・授業概要			
<p>リハビリテーションを行う場合、栄養状態によりその成果は大きく左右される。特に高齢者や障害者において栄養管理は重要な評価項目である。この講義の目的は運動と栄養、または生活習慣病と食事制限に関する知識を深めることである。</p>			
到達目標			
<p>低栄養状態の対象者に適切に対応できる。 生活習慣病の対象者に適切に対応できる。</p>			
授業の形式・方法			
講義			
成績評価の方法・基準			
筆記試験			
学生へのメッセージ			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
Crosslink basic リハビリテーションテキスト 栄養学・生化学	吉村 芳弘	メジカルビュー社	3600

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション	豊田
2	5大栄養素と人体への役割	豊田
3	運動時の栄養	豊田
4	フレイル、サルコペニア等	豊田
5	メタボリック症候群（糖尿病、高脂血症等）	豊田
6	心疾患（高血圧、慢性心不全）	豊田
7	腎疾患	豊田
8	試験	豊田
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

コマ	履修内容	教員
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	臨床薬学		
担当教員	中山 恒 結城 幸一		
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	後期	1	8
履修目的・授業概要 臨床における薬剤の効果を理解するために、主な薬物の特徴、作用機序を学ぶ。			
到達目標 ・ 代表的な薬物の作用・副作用を理解する ・ 各疾患・症状に使用する薬物を知り、その働き方を理解する			
授業の形式・方法 講義			
成績評価の方法・基準 筆記試験			
学生へのメッセージ 疾患の治療、症状の緩和のためにさまざまな薬物が使用されます。代表的な薬物を紹介しますので、「薬」の基礎を習得して下さい。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
はじめの一步の薬理学 第2版	石井邦雄・坂本謙司	羊土社	2900円+税

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション（薬の概念・歴史など）	中山
2	薬の投与と吸収、薬の作用・副作用	中山
3	呼吸器疾患・消化器疾患における薬物	結城
4	脳・神経系に作用する薬物	中山
5	循環器疾患・血液疾患における薬物	中山
6	疼痛緩和・炎症・解熱に用いる薬物	中山
7	代謝性疾患における薬物	中山
8	試験	中山
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

コマ	履修内容	教員
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	救急救命		
担当教員	鳴海 繭花 畑中 亜希美		
実務経験	有		
対象学年	講義時期	単位数	時間数
4年	後期	1	15
履修目的・授業概要			
急変時には、医療スタッフが協働しながら救急対応を行います。医療施設以外でも公共施設、交通機関、職場、学校などでも救急対応が必要なことがあります。授業では、不良の事故や急病に対する応急手当の方法、院内急変時対応について学習していきます。			
到達目標			
1. 救急対応の考え方、急変時における初期対応の流れについて理解できる。			
2. 心肺蘇生法の基礎知識と、一次救命処置の実際を理解できる。			
3. 出血の種類と止血の手順を理解できる。			
4. 院内急変時の対応について理解できる。			
授業の形式・方法			
講義、演習、グループワーク			
成績評価の方法・基準			
筆記試験			
※不合格者は再試験とし、再評価			
学生へのメッセージ			
授業を通じて、救急救命についての基礎的知識・技術を習得し、興味関心を高め、いざという時に適切な対応を実践できる人が増えていくことを願います。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	
資料配布します			

コマ	履修内容	教員
1	わが国における救急医療体制	鳴海
2	救急患者・家族の特徴	鳴海
3	主要病態に対する治療処置 総論	鳴海
4	救急対応の考え方 急病とは	畑中
5	初期対応の流れについて 心肺蘇生法の基礎知識	畑中
6	一時救命処置の知識 出血の種類と止血の手順	畑中
7	一時救命処置の実際 止血法の実際	畑中
8	試験	鳴海 畑中
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	作業療法概論Ⅳ		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 渉 三浦 太一, 中田 帆星		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	通	1	15
履修目的・授業概要 総合Ⅱ期臨床実習前OSCEの実施, グループワークによる, 基礎作業学の総復習 (国家試験・卒後対策).			
到達目標 OSCEについては実習前に必要な知識・技術を身につける. 国家試験に向けた取り組みに関しては,基礎作業学に関した必要な知識・技術の習得.			
授業の形式・方法 演習			
成績評価の方法・基準 出席率			
学生へのメッセージ 全ては準備です.			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	OSCE	各教員
2	OSCE	各教員
3	OSCE	各教員
4	OSCE	各教員
5	生理学 (総論, 細胞, 筋, 神経, 感覚)	石井
6	生理学 (総論, 細胞, 筋, 神経, 感覚)	石井
7	生理学 (自律神経, 呼吸, 循環, 消化)	西口
8	生理学 (自律神経, 呼吸, 循環, 消化)	西口
9	生理学 (排尿, 排便, 内分泌, 体温, 老化)	石井
10	生理学 (排尿, 排便, 内分泌, 体温, 老化)	石井
11	運動学 (総論, 四肢と体幹の運動)	川上
12	運動学 (総論, 四肢と体幹の運動)	川上
13	運動学 (姿勢・運動分析), 人間発達学	三浦
14	運動学 (姿勢・運動分析), 人間発達学	中田
15	神経・筋系の障害	鈴木

コマ	履修内容	教員
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	作業療法管理学		
担当教員	川上 和敏		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	通	1	8
履修目的・授業概要			
<p>作業療法士の業務は、臨床・教育・研究など多岐にわたる。勤務している施設だけでなく協会、士会、連盟や各学会など様々な場で活躍が求められ、現代社会からも多様なニーズとサービスが求められている。質の高い作業療法を提供するための管理・運営能力を学ぶ</p>			
到達目標			
<p>質の高い作業療法を提供するための個人並びに組織における管理運営を理解し携わることができる。</p>			
授業の形式・方法			
講義とグループワーク			
成績評価の方法・基準			
筆記試験			
学生へのメッセージ			
<p>管理学は管理業務を任される役職者だけに必要な学問ではない。学生や作業療法士が自身をマネジメントすること、ある目的や課題を達成するための準備や体制づくりにも共通します。</p>			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	作業療法管理学とは	川上
2	組織とマネジメント	川上
3	作業療法と医療サービス	川上
4	作業療法と教育システム	川上
5	リスクマネジメント	川上
6	作業療法業務のマネジメント	川上
7	作業療法士の社会貢献とキャリア開発	川上
8	筆記試験	川上

科目名	作業療法評価学演習		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 渉 三浦 太一, 中田 帆星		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	通	2	30
履修目的・授業概要 グループワークによる, 作業療法評価法の総復習 (国家試験・卒後対策)			
到達目標 作業療法士に必要な知識を身につける.			
授業の形式・方法 演習			
成績評価の方法・基準 出席率, 参加態度			
学生へのメッセージ 4年間の総まとめの授業になります. 今までの知識をフル活用してください.			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1~30	作業療法評価の目的と領域 作業療法評価の時期と手順 全身状態・局所所見 呼吸・循環・代謝系の評価 運動系の評価 感覚系の評価 発達の評価 高次脳機能の評価(認知症を含む) 精神機能の評価 作業遂行の評価 基本動作の評価 日常生活活動の評価 生活関連活動の評価 義肢。装具の評価 自助具・福祉用具の評価 職業関連活動の評価 社会参加の評価 QOLの評価 個人因子の評価 環境因子の評価 ※内容は国家試験出題のガイドラインによる	各教員

科目名	作業療法治療学演習		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 渉 三浦 太一, 中田 帆星, 三上		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4	後	2	30
履修目的・授業概要 グループワークによる, 各領域毎の作業療法治療学の総復習 (国家試験・卒後対策)			
到達目標 作業療法士に必要な知識を身につける.			
授業の形式・方法 演習			
成績評価の方法・基準 出席率, 参加態度			
学生へのメッセージ 4年間の総まとめの授業になります. 今までの知識をフル活用してください.			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1~30	治療の目的と意義 治療の組み立てと手順 医学的管理 運動系の治療 運動制御・運動学習 呼吸・循環・代謝系の治療 感覚系の治療 高次脳機能系の治療 作業遂行障害の治療 運動発達系の治療 義肢・装具による治療 基本動作の治療 日常生活活動の治療 生活関連活動の治療 環境調整 社会参加への関わり 治療・援助目標 治療・援助目標構造 治療・援助の場 疾患別アプローチ サクシヨンの技術習得 ※内容は国家試験出題のガイドラインによる	各教員

科目名	地域作業療法学演習		
担当教員	川上 和敏, 西口 嘉和 石井 綾子, 鈴木 涉 三浦 太一, 中田 帆星		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
4		1	15
履修目的・授業概要			
<p>障害者雇用や就労支援の現状について、施設見学やビデオ等で障害者が実際に働いている様子をみて認識を深める。</p> <p>社会制度、医療・介護福祉制度などを踏まえ、地域に求められる作業療法実践について学ぶ。</p>			
到達目標			
<p>1. 障害者雇用や就労支援の現状についてアウトプットできる。</p> <p>2. 地域で活動する作業療法士として必要な知識を身につけることができる。</p>			
授業の形式・方法			
講義・演習			
成績評価の方法・基準			
参加態度や出席率			
学生へのメッセージ			
主に旭川市内の障害者就労について、現場スタッフによる講話や見学実習を中心に展開します。現地実習では、すべての行動は現場の指示に従うこと。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	旭川の障害雇用と作業療法士の関わり	担当
2	他職種連携	担当
3	他職種連携	担当
4	障害者職業センターの概要,就労支援について	担当
5	障害者雇用の施策・実際について	担当
6	北海道障害者職業センターの各種演習①	担当
7	北海道障害者職業センターの各種演習②	担当
8	見学実習のまとめ	担当
9	見学実習のまとめ	担当
10	地域作業療法の基本理念	担当
11	関連法規・制度	担当
12	バリアフリーとユニバーサルデザイン	担当
13	住環境整備,福祉用具への適応	担当
14	地域・家庭生活支援	担当
15	就園・就学・就労支援	担当

コマ	履修内容	教員
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	